

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスいろは			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 9 月 2 6 日		～	令和 6 年 1 0 月 1 8 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 名	(回答者数)	2 名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 9 月 2 6 日		～	令和 6 年 1 0 月 4 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じた小集団での支援を行っていること	年齢や発達段階に応じた支援を行っています。 集団活動では、集団の流れに見通しをもって参加したり、一緒に楽しく参加できるよう支援します。集団の中でのルールや手順を理解して取り組んだり、お友達と楽しく関わる経験を積める場となるよう支援します。	こども一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修を実施していきます。 子どもの発達のニーズに応じた活動内容を提供していきます。
2	早期からの受け入れ体制があること	1歳8カ月からの利用時を受け入れしています。 必要に応じて作業療法士による評価を受けながら支援を行っています。	職員の専門性を高めるために、発達支援方法やアプローチを学べる外部研修への参加を促進します。 具体的な支援方法について職員間で意見交換を行い、実践力を高めます。
3	法人内に専門職種を置く部門があったり、施設がある事	コメディカルスタッフより必要に応じてスーパーバイズを受けている。また、高齢者施設などもあることから、子関の機会を持つことが出来ている。	引き続き法人内外の関係機関や専門職との連携を実施し、勉強会や交流会を行っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が不足している	「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供できていない。	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流などを検討していきます。
2	保護者同士の交流機会の少なさ	必要性を感じられている方とそうでない方がいるため、ニーズに応じた柔軟な対応が必要。	共通しそうな困り感や保護者が必要としている情報に対応した開催の工夫が必要。保護者のみなさんのニーズに応じた開催方法を検討していきたい。
3			